



ASIAN SHIPOWNERS' ASSOCIATION

10 Anson Road
#16-18, International Plaza,
Singapore 079903
Tel: (65) 6325 4737 Fax: (65) 6325 4451
General Email: information@asf.com.sg
Website: www.asianshipowners.org

2016年5月20日
中国・上海

プレスリリース “ One Asia, One Voice ” (日本船主協会事務局試訳)

アジア海運業界関係者による特別な会合であるアジア船主フォーラムは、2016年5月19日に第25回年次総会を開催、170人超が出席した。

ASFの現行組織をより適切に反映すべく、名称をアジア船主協会(ASA)とすることが合意された。

ASAは、海運業に影響を及ぼす諸問題に関するアジアの統一見解発信と、会員利益の代弁に全力を注ぐ。

第25回年次総会で取り上げられた多くの喫緊の課題の中で、特に留意すべき事項として強調された事項は以下のとおりである。

- ・ 今後のスエズ・パナマ運河通航料における安定性と透明性の必要性
- ・ プレステイジ号に関するスペイン最高裁の判決と、同判決が1992年民事責任条約に及ぼし得る影響
- ・ マラッカ・シンガポール海峡での海賊および武装強盗への対処に係る継続的な警戒の必要性
- ・ 2006年ILO海上労働条約履行の重要性
- ・ EUによるEU域内入港船へのシップリサイクル関連課徴金導入提案の可能性

上記事項に関する議論の詳細は別添の会合報告ご参照。

【本プレスリリースの問合せ先】

ASF 事務局長 Harry Shin氏

電話：+65-6325 4737

Email : harryshin@asf.com.sg

Website : www.asianshipowners.org

【ASF について】

・アジア船主協会（ASA）は、中国船主協会（CSA）、アセアン船主協会連合（FASA）*、香港船主協会（HKSOA）、インド船主協会（INSA）、日本船主協会（JSA）、韓国船主協会（KSA）、豪州船主協会（MIAL）、台湾船主協会（NACS）で構成される任意組織で、その目的は、アジア船主業界の利益促進。

*アセアン船主協会連合(FASA)の構成

ブライト・ SHIPPING（ブルネイ）（FASA-BSC） / フィリピン船主協会（FASA-FSA） /

インドネシア船主協会（FASA-INSA） / マレーシア船主協会（FASA-MSA） / ミャンマー・

ファイブ・スター・ライン（FASA-MFSL） / シンガポール船主協会（FASA-SSA） / タイ船主協会

（FASA-TSA） / ベトナム船主協会（FASA-VSA）

・当該年次総会以降、次の年次総会までの間は、以下5つの常設委員会により継続的活動が行われている。

船員委員会（SC : Seafarers Committee）

SHIPPING・エコノミクス・レビュー委員会（SERC : Shipping Economics Review Committee）

船舶保険・法務委員会（SILC : Ship Insurance and Liability Committee）

航行安全・環境委員会（SNEC : Safe Navigation and Environment Committee）

シップリサイクル委員会（SRC : Ship Recycling Committee）

・ASF 加盟船主および運航業者は、世界商船船腹の約50%を支配・運航していると推定される。



ASIAN SHIPOWNERS' ASSOCIATION

10 Anson Road
#16-18, International Plaza,
Singapore 079903
Tel: (65) 6325 4737 Fax: (65) 6325 4451
General Email: information@asf.com.sg
Website: www.asianshipowners.org

2016年5月20日
中国・上海

会合報告 (日本船主協会事務局試訳)

第25回アジア船主フォーラム (ASF) 年次総会は、中国船主協会の主催により、2016年5月19日に中国・上海で開催された。

第25回 ASF 年次総会の議長である Xu Lirong (許立榮) 氏はメンバー船協の出席者に対し歓迎の意を示すとともに、今次総会のテーマは、ASF メンバーに対し海運業界間ならびに船協間のより強固な連携を求める “One Asia, One Voice” とすることを発表した。

今次総会において、ASF を新名称の下で運営することが発表された。ASF は今後、アジア船主協会 (ASA) として知られることになる。

2006年ILO海上労働条約

ASA は2月にジュネーブで開催された第2回特別3者委員会において、船上におけるハラメントやいじめ排除に関する改正、並びに特定条件下における海上労働証書の有効期限の延長に関する改正が採択されたことを歓迎する。これらは2016年6月開催の次回ILO総会で承認される見込みであることから、ASA は関係方面に対し、2018年末に発効が予想されるこれら改正の実施へ向けた支援と準備を行うよう求める。

運河通航料

2015年に開通した拡張スエズ運河と、2016年6月開通予定のパナマ運河新閘門は海上物流ならびに世界貿易全体に新たな展開をもたらすと見込まれる。

ASA は、継続的に安全通航環境を確保するとともに不合理な通航料引き上げを抑止すべく、国際海運会議所 (ICS) などの国際海運団体と連携し、スエズ・パナマ各運河庁と各運河利用者との間で何らかの制度的な対話メカニズムの構築に向けた努力を継続することで合意した。

プレステージ号判決

ASAは2016年3月9日付の船舶保険・法務委員会（SILC）のプレスリリースを引き合いにだし、アジア船主がマンゴラス船長とプレステージ号に関するスペイン最高裁の判決に深刻な危惧を覚えていることを改めて示した。スペイン最高裁は信じ難い手順により80代の船長に事故の全責任を負わせることで下級審での事実認定を覆した。これはどうみても政治的な意思決定であり、スペインが1992年民事責任条約を誠実に遵守する義務を無視し、汚染被害に対する船主の責任制限の権利をはく奪しようとする意図がみてとれる。スペインの行為はその場の政治的ニーズに迎合しているのだろうが、これにより効果的かつ良好に築き上げてきた補償制度の基盤を弱体化させ、将来汚染事故が発生した場合の被害者は財政的に厳しい状況に陥る可能性が高くなる。

海賊および武装強盗

2015年第1四半期に、マラッカ・シンガポール海峡における海賊および武装強盗事件の報告件数は大幅に増加したが、2015年第4四半期および2016年上半期には劇的に減少した。

これに関し、ASAは、同海域におけるインドネシア、マレーシアおよびシンガポールの沿岸三カ国政府による率先した継続的な多国間の海上保安対策に対し、感謝の意を表した。

同時に、ASAはまた、ASAや他の関係団体との緊密な情報交換の後、アジア海賊対策地域協力協定（ReCAAP）によって作成された「アジアにおける海賊および武装強盗行為に関する地域的ガイド」の発行を歓迎した。

ASAは、責任ある船主団体として、船員の安全と福利厚生を確保するためのあらゆる手段を講じなければならないことを強調した。その1つとして、われわれは、作成されるガイダンスに、その地域において船舶を運航し実情に精通している船主からの情報が盛り込まれるよう対応していかなければならない。

シップリサイクルに関する規則 - EU経済的手法

ASAは、規則が主要解撤国における一般的な方法を考慮するものでない限り、いかなる一方的な地域規制も、国際的に環境に配慮した解撤を定着させるための解決方法になり得ないことを確認した。これに関連して、ASAは、2009年の安全かつ環境に優しい船舶の解撤のための香港国際条約（HKC）が、船舶解撤において安全かつ環境保護を実現するための最良の方法であるという基本方針を再度確認した。ASAメンバーは、早期にHKCを批准するよう自国政府へ働きかけることに合意した。

これに関連して、船舶解撤に関する地域規則の効果を確実にするために、船籍にかかわらずすべてのEU港寄港船に課徴金を課そうとする、欧州連合（EU）による経済的手法の導入は、多くの船主に懸念を抱かせている。ASAは、この問題に関して、ICSおよび欧州船主協会（ECSA）と対応を協議している。

第26代のASA議長には、台湾船主協会会長のFrank Lu（盧峰海）氏が選任された。新議長の任期は、2017年5月に台北で行われる次回ASA年次総会までの1年間となる。

For media enquiries, kindly contact:

Mr. Harry Shin

Secretary General

Asian Shipowners' Association (ASA)

Tel : (+65) 6325 4737

Email : harryshin@asf.com.sg

Website : www.asianshipowners.org

The Asian Shipowners' Association (ASA) is a voluntary organization of the shipowner associations of Australia, China, Chinese Taipei, Hong Kong, India, Japan, Korea and the Federation of ASEAN Shipowners' Associations comprising shipping associations of ASEAN countries. The aims of the ASA are to promote the interests of Asian shipowners. Between annual ASA meetings, the ongoing work is carried out by five Standing Committees: The Shipping Economics Review Committee, the Seafarers Committee, the Ship Recycling Committee, the Safe Navigation and Environment Committee, and the Ship Insurance and Liability Committee. It has been estimated that ASA shipowners and managers control and operate around 50% of the world's cargo carrying fleet.